

補助事業番号：19-2-025

補助事業名：平成19年度心身障害児の療育相談指導等補助事業

補助事業者名：社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

心身障害児とその家族を対象として総合的に療育相談を行い、障害児ごとに適切な療育相談を行うとともに、全国各地域の父母団体と協力し合い、障害児のための各種の福祉活動を実施し、もって社会福祉の増進に寄与する。

(2) 実施内容

ア. (福) 全国心身障害児福祉財団が行う事業

(ア) 障害児及び家族に対する療育相談の実施

本財団療育相談センターに来所した障害児とその家族に対して、医師及び専門家による診断助言を行い、適切な療育指針を提供した。また、療育指導の手引き書を3,000部作成して特別支援学校・障害児関係施設及びセンター来所者等へ広く配布した。

(イ) 障害児及び家族に対する治療訓練

(i) 障害児及び家族に対するグループ治療訓練

障害児を発達状況に応じて数人ずつのグループに分け、それぞれのグループに対して治療訓練プログラムを実施した。また、母親に対しても同時並行してカウンセリングを行った。

(ii) グループ宿泊訓練

グループ間の交流を深めながら、実践的生活指導を身につけるために三泊四日の合宿訓練を次のとおり実施した。

a. 実施期日 8月19日～22日

b. 実施場所 山梨県南巨摩郡「なかとみ青少年自然の里」

c. 参加者 25名

(iii) 障害児及び家族に対する個別治療

特に心理及び言語の面で問題をかかえる障害児に対して、それぞれ個別の治療訓練を行った。

(ウ) 競輪場を利用した地域指導者養成研修

地域レベルでの障害児(者)父母団体の連携を図るためのリーダーの養成研修と競輪への理解を深めるための競輪講座を全国6会場で1泊2日の日程で開催した。(参加者合計211名)

9月1日～2日 群馬県前橋市(前橋競輪場・ホテルサンダーソン)39名

9月28日～29日 香川県観音寺市(観音寺競輪場・観音寺グランドホテル)33名

10月27日～28日 富山県富山市(富山競輪場・名鉄トヤマホテル)34名

11月30日～12月1日 三重県四日市市(四日市競輪場・四日市シティホテル)37名

12月8日～9日 和歌山県和歌山市(和歌山競輪場・和歌山東急イン)34名

2月29日～3月1日 長崎県佐世保市(佐世保競輪場・セントラルホテル佐世保)34名

(エ) 子育て支援のための指導誌の発行

乳幼児を持つ親や教育・保育従事者に障害の有無を問わず、より良い子育てのあり方を指導するための指導誌(5,000部)を年4回発行した。

イ. (社) 日本筋ジストロフィー協会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

筋ジストロフィー患者及び家族に対して療育技術の解説を内容とした指導誌(4,600部)を1種類、さまざまな情報や伝達を目的とした会報(4,600部)を6回発行して配布した。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

全国の筋ジストロフィー患者の家族のために療育相談活動を実施した。

(ウ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

日頃社会から隔絶された状況にある筋ジストロフィー患者及び家族に対し、将来への生きる指針を獲得させるために一泊二日の集団キャンプを29回実施した。(参加者合計1,270名)

6月8日～9日 相模川ビレッジ若鮎(神奈川県相模原市)参加者50名

6月9日～10日 ホテル京阪ユニバーサルシティー(大阪府大阪市)参加者44名

6月16日～17日 大山ロイヤルホテル(鳥取県西伯郡)参加者44名

6月30日～7月1日 青島サンクマール(宮崎県宮崎市)参加者41名

7月7日～8日 ホテル松島大観荘(宮城県宮城郡)参加者44名

7月21日～22日 松江訓練センター(島根県松江市)参加者44名

7月21日～22日 かんぽの宿一関(岩手県一関市)参加者44名

7月21日～22日 雨晴温泉磯はなび(富山県高岡市)参加者47名

8月4日～5日 ホテルマウントレースイ(北海道夕張市)参加者44名

8月5日～6日 松江訓練センター(島根県松江市)参加者52名

8月18日～19日 安芸グランドホテル(広島県佐伯郡)参加者46名

8月25日～26日 城島後楽園ホテル(大分県別府市)参加者44名

8月25日～26日 沖縄都ホテル(沖縄県那覇市)参加者51名

8月25日～26日 メルパルク長野(長野県長野市)参加者50名

8月29日～30日 ホテルオークラ神戸(兵庫県神戸市)参加者44名

9月1日～2日 信州松代ロイヤルホテル(長野県長野市)参加者41名

9月1日～2日 フォレスタ鳥海(秋田県由利本荘市)参加者44名

9月8日～9日 ウェルサンピアなにわ(大阪府大阪市)参加者31名

9月8日～9日 ANAインターコンチネンタル東京(東京都港区)参加者44名

9月9日～10日 マリーナシティロイヤルパインズホテル(和歌山県和歌山市)参加者33名

9月14日～15日 ホテルライフオーソ札幌(北海道札幌市)参加者44名

9月15日～16日 アートホテルズ札幌(北海道札幌市)参加者41名

9月29日～30日 サンルートプラザ東京(千葉県浦安市)参加者44名

9月29日～30日 彦根キャッスルホテル(滋賀県彦根市)参加者41名

10月6日～7日 ホテル天坊(群馬県北群馬郡)参加者31名

10月13日～14日 富浦ロイヤルホテル(千葉県南房総市)参加者47名

10月13日～14日 ビレッジ安曇野(長野県安曇野市)参加者44名

10月13日～14日 観山荘(群馬県北群馬郡)参加者44名

11月10日～11日 ホテルレオパレス博多(福岡県福岡市)参加者52名

ウ. 全国ことばを育む親の会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

言語障害児及び家族に対して療育技術の解説を内容とした指導誌(2,000部)を4種類、さまざまな情報や伝達を目的とした会報(8,000部)を6回発行して配布した。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

言語障害児及び家族に対する療育指導を積極的に奨めるために治療教育相談を実施した他、全国の言語障害児の家族のための療育相談活動を実施した。(参加者合計1,011名)

- 7月8日 福井市地域交流プラザ(福井県福井市)参加者57名
- 7月14日 八戸市中央公民館(青森県八戸市)参加者58名
- 8月18日 土浦市総合福祉会館(茨城県土浦市)参加者57名
- 8月21日 吉備青少年自然の家(岡山県加賀郡)参加者57名
- 9月15日 大崎生涯学習センター(宮城県大崎市)参加者57名
- 10月5日 栗山町総合福祉センター(北海道夕張郡)参加者57名
- 10月6日 大川町南川自然の家(香川県さぬき市)参加者62名
- 10月13日 茅野市立玉川小学校(長野県茅野市)参加者57名
- 10月20日 サンワーク美祢(山口県美祢市)参加者59名
- 10月20日 会津若松市北公民館(福島県会津若松市)参加者57名
- 10月21日 東海大学社会教育センター(静岡県静岡市)参加者57名
- 10月27日 池田町ことばの教室(岐阜県揖斐郡)参加者57名
- 11月18日 広島市立荒神町小学校(広島県広島市)参加者85名
- 12月2日 クローバープラザ(福岡県春日市)参加者61名
- 12月2日 のとふれあい文化センター(石川県鳳珠郡)参加者59名
- 1月27日 苫小牧市立東小学校(北海道苫小牧市)参加者57名
- 2月1日 さが市民活動サポートセンター(佐賀県佐賀市)参加者57名

(ウ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

日頃社会から隔離された状況にある言語障害児及び家族に対し、将来への生きる指針を獲得させるために一泊二日の集団キャンプを4回、二泊三日のキャンプを2回実施した。

(参加者合計 一泊二日324名 二泊三日202名)

- 一泊二日 7月7日～8日 鳥取県立青少年の家サン・レイク(鳥取県出雲市)参加者136名
- 8月25日～26日 グリーンプラザみやま(岐阜県山県市)参加者72名
- 9月1日～2日 ふれあいの里さかもと(鳥取県勝浦郡)参加者54名
- 10月20日～21日 知床第一ホテル(北海道斜里郡)参加者62名
- 二泊三日 8月17日～19日 黒髪少年自然の家(佐賀県武雄市)参加者148名
- 8月19日～21日 苫小牧オートリゾート(北海道苫小牧市)参加者54名

エ. 全国難聴児を持つ親の会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

難聴児及び家族に対して、さまざまな情報や伝達を目的とした会報(5,200部)を4回発行して配布した。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

全国の難聴児の家族のための療育相談活動を実施した。

(ウ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

日頃社会から隔離された状況にある難聴児及び家族に対し、将来への生きる指針を獲得させるために一泊二日の集団キャンプを3回、二泊三日の集団キャンプを2回下表のと

おり実施した。(参加者合計 一泊二日191名 二泊三日134名)

- 一泊二日 7月21日～22日 山中プリンスホテル(石川県加賀市)参加者49名
- 8月26日～27日 朝霧野外活動センター(静岡県富士見市)参加者53名
- 9月15日～16日 いわき海浜自然の家(福岡県いわき市)参加者89名
- 二泊三日 8月17日～19日 奥只見丸山緑の学園(新潟県北魚沼郡)参加者54名
- 8月24日～26日 あしきた青少年の家(熊本県葦北郡)参加者80名

オ. (社) 日本自閉症協会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

自閉症児とその家族に対して療育技術の解説を内容とした指導誌(18,000部)を1種類、さまざまな情報や伝達を目的とした会報(18,000部)を6回発行して配布した。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

自閉症とその家族に対する療育指導を積極的に奨めるために治療教育相談を8回実施した。(参加者合計910名)

- 6月3日 ひと・まち交流館京都(京都府京都市)参加者122名
- 8月4日 ウィリング横浜(神奈川県横浜市)参加者76名
- 9月5日 福島市保健センター(福島県福島市)参加者48名
- 9月22日 琉球大学(沖縄県中頭郡)参加者143名
- 10月20日 取手市福祉交流センター(茨城県取手市)参加者181名
- 11月1日 ふれあいランド岩手(岩手県盛岡市)参加者92名
- 11月11日 玉野市総合保健福祉センター(岡山県玉野市)参加者169名
- 12月2日 県民福祉プラザ(青森県青森市)参加者79名

(ウ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

日頃社会から隔絶された状況にある自閉症児及び家族に対し、将来への生きる指針を獲得させるために一泊二日の集団キャンプを5回実施した。(参加者合計278名)

- 7月21日～22日 寿海荘(山形県鶴岡市)参加者54名
- 8月10日～11日 乙女溪谷キャンプ場(岐阜県中津川市)参加者57名
- 8月18日～19日 野母崎海の健康村(長崎県西彼杵郡)参加者59名
- 8月25日～26日 いこいの村能登半島(石川県羽咋郡)参加者54名
- 11月9日～10日 ホテルレオマの森(香川県丸亀市)参加者54名

カ. (社) 全国肢体不自由児・者父母の会連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

肢体不自由児及びその家族に対して療育技術の解説を内容とした指導誌(8,000部)を1種類、さまざまな情報や伝達を目的とした会報(8,200部)を2回発行して配布した。

(イ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

日頃社会から隔絶された状況にある肢体不自由児及び家族に対し、将来への生きる指針を獲得させるために一泊二日の集団キャンプを3回、二泊三日の集団キャンプを4回実施した。(参加者合計 一泊二日159名 二泊三日212名)

- 一泊二日 6月28日～29日 グランドホテル雨宮館(北海道音更町)参加者53名
- 8月11日～12日 升沢森の学び舎(宮城県黒川郡)参加者53名
- 9月8日～9日 ホテル清明荘(長野県茅野市)参加者53名
- 二泊三日 7月15日～17日 夜須高原福祉村やすらぎ荘(福岡県朝倉郡)参加者53名

8月18日～20日 波戸岬少年の自然の家(佐賀県唐津市)参加者53名

9月29日～10月1日 那須高原ホテル(栃木県那須塩原市)参加者53名

10月20日～22日 伊東一碧湖ホテル(静岡県伊東市)参加者53名

(ウ) 指導者養成研修

障害者の自立更正を促進する指導者を養成するために、全国を7ブロックに分けて、それぞれ研修会を実施した。(参加者合計194名)

8月1日～3日 グリーンパークホテル(青森県青森市)参加者24名

8月24日～26日 ホテルさっぽろ弥生(北海道札幌市)参加者22名

10月19日～21日 高松センチュリーホテル(香川県高松市)参加者31名

11月9日～11日 コミュニティ嵯峨野(京都府京都市)参加者24名

11月23日～24日 パシフィックホテル沖縄(沖縄県那覇市)参加者30名

11月30日～12月2日 福井パレスホテル(福井県福井市)参加者27名

12月14日～16日 マロウドイン熊谷(埼玉県熊谷市)参加者36名

キ. 全国聾学校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

ろうあ児とその家族に対して療育技術の解説を内容とした指導誌(11,000部)を1種類、さまざまな情報や伝達を目的とした会報(11,000部)を3回発行して配布した。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

ろうあ児とその家族に対する療育指導を積極的に奨めるために治療教育相談を5回実施した。(参加者合計331名)

7月5日 はがくれ荘(佐賀県佐賀市)参加者61名

7月13日～14日 秋田県青少年交流センター(秋田県秋田市)参加者173名

2月2日 ナジックプラザ(愛知県名古屋市)参加者45名

2月9日 東京都立立川ろう学校(東京都立川市)参加者52名

(ウ) 聴覚障害生徒スポーツ振興事業

ろうあ児の体力向上を通して意欲的な人間を育てるために、陸上競技大会と卓球大会を下表のとおり実施した。

陸上競技大会 9月28日～30日 笠松運動公園陸上競技場(茨城県那珂市)

卓球大会 11月9日～11日 山口県スポーツ文化センター

ク. 全国盲学校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

盲学校へ通う盲児とその家族に対して療育技術の解説を内容とした指導誌(6,000部)を発行して配布した。

(イ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

日頃社会から隔絶された状況にある盲学校へ通う盲児とその家族に対し、将来への生きる指針を獲得させるために一泊二日の集団キャンプ実施した。

6月6日～7日 鳥取市サイクリングターミナル(鳥取県鳥取市)参加者76名

(ウ) 視覚障害生徒スポーツ振興

盲児の体力向上を通して意欲的な人間を育てるために、野球大会を開催した。

8月22日～24日 甲府市立北中学校グラウンド(山梨県甲府市)参加者126名

ケ. 全国病弱虚弱教育学校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

病弱虚弱児とその家族に対して療育技術の解説を内容とした指導誌(4,500部)を発行して配布した。

(イ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

日頃社会から隔絶された状況にある病弱虚弱児とその家族に対し、将来への生きる指針を獲得させるために一泊二日の集団キャンプを4回実施した。(参加者合計 240名)

8月3日～4日 伊予ロッジ(山梨県北杜市)参加者74名

8月10日～11日 いこいの村あしがら(神奈川県足柄上郡)参加者58名

8月26日～27日 永和荘(愛知県愛西市)参加者54名

3月1日～2日 かんぼの宿草津(群馬県草津町)

(ウ) 社会復帰のための社会適応講座の開催

学校卒業を目前にした病弱虚弱児に対して社会適応のための実践的な指導講座を6回実施した。(参加者合計 246名)

9月29日 鉱山歴史館(秋田県鹿角市)参加者33名

10月9日 徳島県立障害者交流プラザ(徳島県徳島市)参加者23名

11月18日 原田農園(群馬県沼田市)参加者47名

1月11日 スキージャム勝山(福井県勝山市)参加者69名

2月8日 ガルルのスキー場(新潟県柏崎市)参加者29名

3月29日 ポティロンの森(茨城県稲敷市)参加者45名

コ. (社) 日本てんかん協会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

てんかん児とその家族に対してさまざまな情報や伝達を目的とした会報(6,900部)を12回発行して配布した。

(イ) 指導誌・ビデオの発行

てんかん児の援助の仕方を解説したビデオ(100本)と簡単なパンフレット(2,000部)を作成して関係者に配布した。

サ. 全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

養護学校に通う知的障害児とその家族に対してさまざまな情報や伝達を目的とした会報(31,000部)を2回発行して配布した。

シ. 全国視覚障害児(者)親の会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

視覚障害児とその家族に対してさまざまな情報や伝達を目的とした会報(2,000部)を2回発行して配布した。

ス. 全国肢体不自由養護学校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

養護学校に通う肢体不自由児とその家族に対してさまざまな情報や伝達を目的とした会報(10,000部)を1回発行して配布した。

セ. (財) 日本ダウン症協会が行う事業

(ア) ダウン症児・者の自転車教室

運動能力が劣るダウン症児・者に自転車教室を前期・後期で開催した。

会場 山鹿市サイクリングターミナル(熊本県山鹿市)

日程 前期 10月5日～7日 後期11月3日～4日

参加者 39名

2. 予想される事業実施効果

ア. (福) 全国心身障害児福祉財団が行う事業

(ア) 障害児及び家族に対する療育相談の実施

本財団療育相談センターの受診で得た知識と自信によって、今後の家庭での生活に向けて大きな支えとなっていくことが期待される。また、療育指導書を発行することで、来所者や関係者の療育についての知識の向上に役立と予想される。

(イ) 障害児及び家族に対する治療訓練

それぞれの状況に応じた適切な治療訓練を受けたことで、将来に向けて実際の生活の中で生かすことのできる手立てと希望を与えることができた。また、宿泊訓練を開催することで参加者の実践的な生活習慣を身につけさせることができたと予想される。

(ウ) 競輪場を利用した地域指導者養成研修

参加者の中で、いままで一度も競輪場へ行ったことがない人達が多く、競輪場の雰囲気を知ることができたと予想される。また、福祉講座では、同じ地域の方々が、互いに交流することができたと予想される。

(エ) 子育て支援のための指導誌の発行

育児及び子育てに関する適確な情報を、障害児を持つ親や教育・保育従事者に提供することができたと予想される。

イ. (社) 日本筋ジストロフィー協会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

筋ジストロフィー患者及び家族が療育技術やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

最新の医療技術に基づく効果的な療育指針を得たことにより、今後安定した健康保持への意識が向上することが予想される。

(ウ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

将来への生きる指針を獲得することで、地域社会に積極的に溶け込み、しいては明るい人生を歩んでいくことが期待できる。

ウ. 全国ことばを育む親の会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

言語障害児及び家族が、療育技術やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

最新の治療教育水準を獲得したことで、社会参加への明るい希望と自信を持つことが予想される。

(ウ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

将来への生きる指針を獲得させることで、地域社会に積極的に溶け込み、しいては明るい人生を歩んでいくことが期待できる。

エ. 全国難聴児を持つ親の会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

難聴児及び家族にとって、療育技術の解説やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

難聴児及びその家族が、最新の療育水準を獲得したことで、社会参加への明るい希望と自信を持つことが予想される。

(ウ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

将来への生きる指針を獲得することで、地域社会に積極的に溶け込み、しいては明るい人生を歩んでいくことが期待できる。

オ. (社) 日本自閉症協会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

自閉症児とその家族が、療育技術の解説やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

自閉症児者とその家族が、療育指導を行ったことで、社会参加への明るい希望と自信を持つことが予想される。

(ウ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

日頃社会から隔絶された状況にある自閉症児とその家族に対して、将来への生きる指針を獲得させることができたことで、地域社会に積極的に溶け込み、しいては明るい人生を歩んでいくことが期待できる。

カ. (社) 全国肢体不自由児・者父母の会連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

肢体不自由児及び家族が、療育技術の解説やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(イ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

将来への生きる指針を獲得させることで、地域社会に積極的に溶け込み、しいては明るい人生を歩んでいくことが期待できる。

(ウ) 指導者養成研修

障害者の自立更生を促進する指導者の技術を一層充実させることで、障害者の自立更生の可能性と範囲が広まっていくことが期待される。

キ. 全国聾学校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

ろうあ児とその家族が療育技術の解説やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

ろうあ児とその家族に最新の治療教育水準を獲得したことで、社会参加への明るい希望と自信を持つことが予想される。

(ウ) 聴覚障害生徒スポーツ振興事業

ろうあ児の体力向上を通して意欲的な人間形成に寄与することで、ろうあ児の社会参加の可能性を拡大していくことが予想される。

ク. 全国盲学校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

盲学校へ通う盲児とその家族が療育技術の解説やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(イ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

将来への生きる指針を獲得させることで、地域社会に積極的に溶け込み、しいては明るい人生を歩んでいくことが期待できる。

(ウ) 視覚障害生徒スポーツ振興

盲児の体力向上を通して意欲的な人間形成に寄与することで、盲児の社会参加の可能性を拡大していくことが予想される。

ケ. 全国病弱虚弱教育学校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

病弱虚弱児とその家族が療育技術やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(イ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

将来への生きる指針を獲得させることで、地域社会に積極的に溶け込み、しいては明るい人生を歩んでいくことが期待できる。

(ウ) 社会復帰のための社会適応講座の開催

実践的な意欲と技術を獲得することで、社会参加への自覚と責任を持って意欲的な人生を歩んでいくことが予想される。

コ. (社) 日本てんかん協会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

てんかん児とその家族がさまざまな情報を自分のものとし生かしていくことが予想される。

(イ) 指導誌・ビデオの発行

てんかん児の援助の仕方を広く啓蒙することで、てんかん児の社会参加への道が一層広がっていくことが予想される。

サ. 全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

特別支援学校知的障害教育校に通う知的障害児とその家族がさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

シ. 全国視覚障害児（者）親の会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

視覚障害児とその家族がさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

ス. 全国肢体不自由養護学校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

養護学校に通う肢体不自由児とその家族がさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

セ. (財) 日本ダウン症協会が行う事業

(ア) ダウン症児・者の自転車教室

自転車に乗れるようになったことが本人たちの自信となり、今後ますます活動を積極的に行っていくことが予想される。

3. 本事業により作成した印刷物等

ア. (福) 全国心身障害児福祉財団

障害の重い子どものための授業づくりハンドブック B5判 230頁 3,000部

子育て支援情報誌No.9 A4判 24頁 5,000部

子育て支援情報誌No.10 A4判 24頁 5,000部

子育て支援情報誌No.11 A4判 24頁 5,000部

子育て支援情報誌No.12 A4判 24頁 5,000部

イ. (社) 日本筋ジストロフィー協会

一日も早くNo.239 B5判 12頁 4,600部

一日も早くNo.240 B5判 12頁 4,600部

一日も早くNo.241 B5判 12頁 4,600部

一日も早くNo.242 B5判 12頁 4,600部

一日も早くNo.243 B5判 12頁 4,600部

一日も早くNo.244 B5判 12頁 4,600部

研究 B5判 38頁 4,600部

ウ. 全国ことばを育む親の会

ことばNo.232 B5判 20頁 8,000部

ことばNo.233 B5判 20頁 8,000部

ことばNo.234 B5判 20頁 8,000部

ことばNo.235 B5判 20頁 8,000部

ことばNo.236 B5判 20頁 8,000部

ことばNo.237 B5判 20頁 8,000部

正しい発音の指導 A4判 56頁 2,000部

耳をすましてごらん B5判 46頁 2,000部

子どもと楽しくあそべる遊び B5判 56頁 2,000部

ことばの伸び方・心の成長 A4判 52頁 2,000部

エ. 全国難聴児を持つ親の会

べるNo.137 B5判 24頁 5,200部

べるNo.138 B5判 24頁 5,200部

べるNo.139 B5判 24頁 5,200部

べるNo.140 B5判 24頁 5,200部

オ. (社) 日本自閉症協会

いとしごNo.104 A4判 20頁 18,000部

いとしごNo.105 A4判 16頁 18,000部

いとしごNo.106 A4判 16頁 18,000部

いとしごNo.107 A4判 16頁 18,000部

いとしごNo.108 A4判 16頁 18,000部

いとしごNo.109 A4判 16頁 18,000部

- かがやきNo.4 B5判 64頁 18,000部
- カ. (社)全国肢体不自由児・者父母の会連合会
いずみNo.127 B5判 12頁 8,200部
いずみNo.128 B5判 12頁 8,200部
療育ハンドブック B6判 70頁 8,000部
- キ. 全国聾学校PTA連合会
会報No.198 B5判 10頁 8,200部
会報No.199 B5判 10頁 8,200部
会報No.200 B5判 10頁 8,200部
道標No.34 B5判 45頁 8,200部
全国聾学校陸上競技大会要綱 A4判 126頁 800部
全国聾学校陸上競技大会ポスター B2判 300枚
全国聾学校卓球大会要綱 A4判 37頁 800部
全国聾学校卓球大会ポスター A2判 320枚
- ク. 全国盲学校PTA連合会
手をつなごうNo.33 A4判 50頁 6,000部
全国盲学校野球大会要綱 A4判 48頁 300部
全国盲学校野球大会ポスター B2判 300枚
- ケ. 全国病弱虚弱教育学校PTA連合会
会報No.29 B5判 16頁 4,500部
- コ. (社)日本てんかん協会
会報「波」4月号 B5判 44頁 6,900部
会報「波」5月号 B5判 44頁 6,900部
会報「波」6月号 B5判 44頁 6,900部
会報「波」7月号 B5判 44頁 6,900部
会報「波」8月号 B5判 44頁 6,900部
会報「波」9月号 B5判 44頁 6,900部
会報「波」10月号 B5判 44頁 6,900部
会報「波」11月号 B5判 44頁 6,900部
会報「波」12月号 B5判 44頁 6,900部
会報「波」1月号 B5判 44頁 6,900部
会報「波」2月号 B5判 44頁 6,900部
会報「波」3月号 B5判 44頁 6,900部
私は働きたい—てんかんと就労—(テキスト) A5判 88頁 2,000部
私は働きたい—てんかんと就労—(ビデオ) VHS 25分 100本
- サ. 全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会
会報No.67 A4判 16頁 31,000部
会報No.68 A4判 16頁 31,000部
- シ. 全国視覚障害児(者)親の会
会報「つえ」No.50 B5判 16頁 2,000部
会報「つえ」No.51 B5判 16頁 2,000部

ス. 全国肢体不自由養護学校PTA連合会
会報No.80 A4判 96頁 10,000部

3. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：社会福祉法人全国心身障害児福祉財団(ゼンコクシンシンショウガイジフクシザ
イダン)

住所：162-0051

東京都新宿区西早稲田2-2-8

代表者名：理事長 今泉 昭雄(イマイズミ アキオ)

担当部署：業務部(ギョウムブ)

担当者名：業務部員 町野 忠史(マチノ タダシ)

電話番号：03-3203-1284

F A X：03-3208-1337

E - m a i l：gyoumubu@shougaiji-zaidan.or.jp

U R L：<http://www.shougaiji-zaidan.or.jp/>